

<白金標準、「需給に勝るものなし」で4740円狙い・・・>



(出所：オアシス)

南アフリカの電力問題で鉱山稼働率が抑えられ、前週に発表された2023年のプラチナ需給報告では、WPIC2023年第1四半期PGM需給報告で昨年26.4トンの供給過剰から一転して30.4トンの供給不足を示し、前回の17トン供給不足から悪化している。またJM社（ジョンソンマッセイ）は2023年PGMマーケットレポートを発表し、2022年の22.9トンの供給過剰から2023年は4トンの供給不足の予想を発表している。メタルフォーカスは昨年1.6トンの供給不足から2023年は29.5トンの大幅供給不足を予想している。

特に南アフリカの国営電力会社エスコム代理CEOは、記者会見で6月～9月の冬の時期にステージ8の可能性は低いと否定できない状況を示している。そのため白金標準先物で4600円を上回り、週末にデフォルト・リスクや地銀の信用リスクが高まりを見せたが4575円を下回る事無く、4600円を回復するなど相場格言で示す「需給に勝るものなし」の値動きを見せている。特に債務上限問題で与野党の協議が前進し、デフォルト回避が現実味を示した場合は、供給不足を意識した値動きへ変化し目先の高値4740円の超える可能性を高めると見え、弱気は禁物と思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足をMACDとRCIで見た場合は、MACDではMACDが切り下げながらシグナルも下げている。ただ乖離幅が縮小し、底堅い値動きに思える。またRCIでは短期が切り上げながら長期は下げており、強気のクロス・サイン待ちと思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,670,000 円(2023 年 5 月 22 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 40,700 円(2023 年 5 月 22 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>